



学校だより

令和4年8月31日

ひびき

9月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

SDGs と Z 世代

校長 大塩 啓介

この夏も、私たちは自然の猛威にさらされました。横浜も台風が通過いたしました。幸い大きなことにはならず済みました。しかし、日本各地では大雨による洪水がいたるところで起き、その被害は甚大なものとなっています。今までは、数年、あるいは10年に一度くらいしかニュースで聞かなかったようなことが、近ごろは毎年のように見聞きするようになりました。世界に目を向ければ、高温による干ばつが起き、50度を超える地域も出てきています。今まで日本の北海道ぐらいの気候だったヨーロッパの国々でも、赤道直下の砂漠のような気温となっています。それにより、今まで水面下に沈んでいた遺跡を目にすることができるようになりました。これも、地球温暖化による気候変動の一部なのでしょう。

また、別のところに目を向けると、このところ性の多様化への理解が進んできています。小学校ではあまり聞くことはありませんが、自身の性に違和感があり、相談する児童・生徒が増えてきています。中学校や高校ではこうしたことに目を向け、制服の選択制をとるところも増えてきています。従来の固定した概念にとらわれず、一人一人が自分らしく生きられる社会に少しずつ変化していることを感じます。

こうした中で、ロシアがウクライナに侵攻するという事態が起きました。21世紀に入り、歴史の中のことくらいしかとらえられていなかった、国同士の戦争が起こることが信じられませんでした。しかし、現実にこうしたことが起き、正に予測不能な時代になってきています。

今、Z世代という世代が注目されています。物心ついたころからインターネットや携帯電話、スマートフォンなどが日常にあり、便利な時代に生まれてきた一方、地球温暖化など地球全体で考えなければいけない問題を抱え、これがこの世代の将来への不安につながっているとされています。しかし、Z世代の人たちは、常に世の中の動きに対して敏感で、問題意識、課題意識を持っています。SDGsに関心が高いのもこの世代の特徴です。そういえば、かつて時代の流れを作っていた「新人類」と言われた若いころにバブル期を過ごした世代の人たちが、還暦を迎えてきています。きっと、今の児童らを含むZ世代の人以降の人たちが、現在の人類の様々な課題を解決して、持続可能な、よりよい未来を創っていくことを願っています。